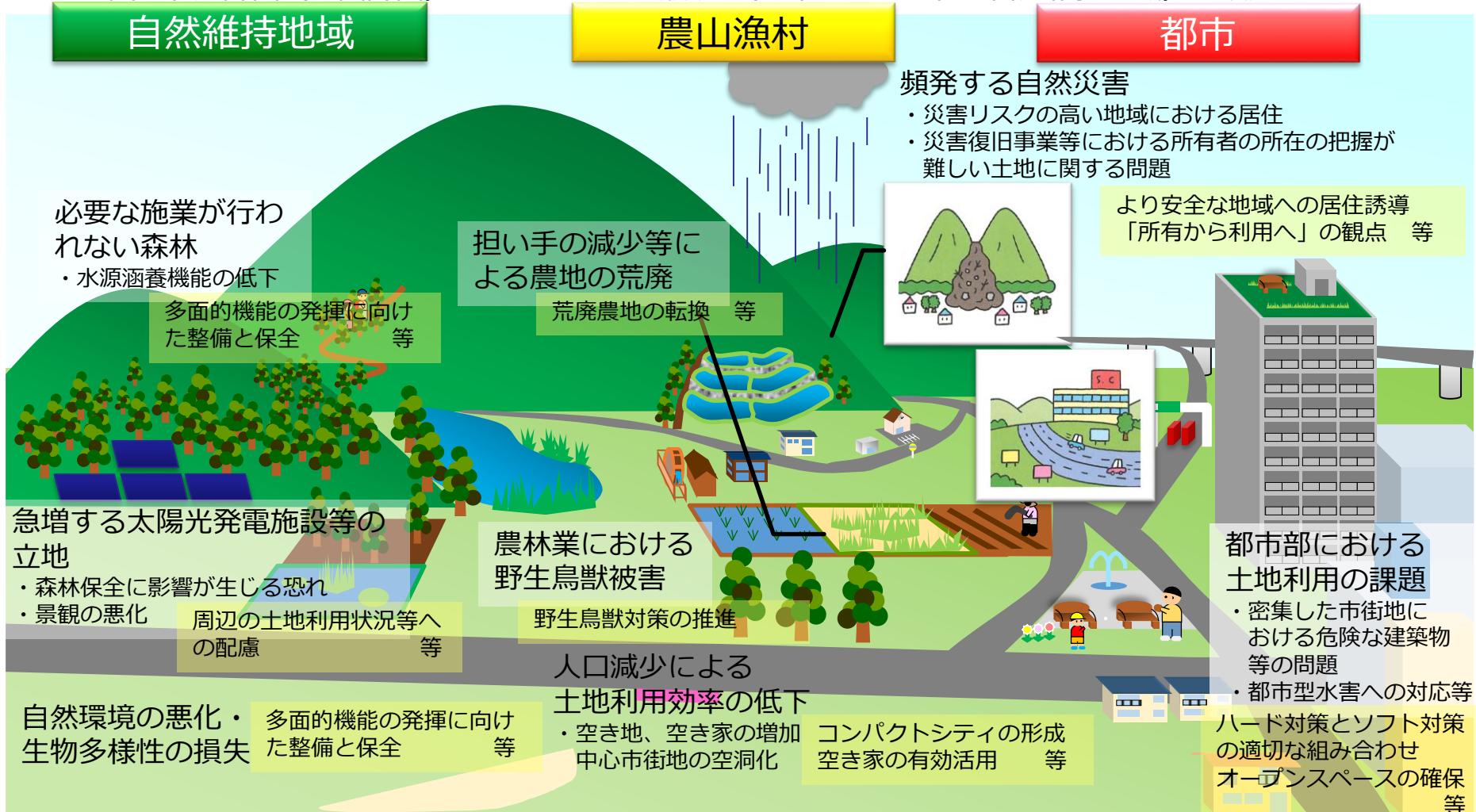


「国土管理専門委員会」における議論の全体像と今後の議論の進め方

■ 国土利用・管理上の主な課題と方針（イメージ）

※国土利用計画（全国計画）では、3つの地域類型（都市、農山漁村、自然維持地域）を設定



「対流促進型国土」の形成
・「コンパクト+ネットワーク」

「複合的な効果をもたらす施策」
「選択的な国土利用」

「複合的な効果をもたらす施策」、
「選択的な国土利用」の視点も意識

国土利用計画等の共有・推進等
による継続性の担保

国土形成計画・
国土利用計画(全国計画)
(H27.8 閣議決定)

計画推進へ

< 専門委員会における議論の全体像 >

【2017年とりまとめ】(H29.5)
「これからの国土利用・管理に対応した国土利用計画(市町村計画)のあり方」

・第1回～第4回の議論を踏まえ、国土利用計画(市町村計画)を「国土・土地利用に関する市町村のマスタープラン」として活用し、市町村レベルで地域構造の転換を図っていくことを提言

【2018年とりまとめ】(H30.6)
「人口減少下の持続可能な国土の利用・管理のために」

・第5回～第8回の議論を踏まえ、市町村・地区レベルで持続可能な国土管理のあり方を検討するに当たり、各地域が共通して直面することが多い課題と解決の方向性について、分類、整理

【2019年とりまとめ】
「収益性が極めて低い土地の管理のあり方」(仮称)
※新たな施策の提言(収益性が極めて低い土地への支援等)

持続可能な国土利用・管理に向けたステップ

ステップ①：
自分たちの暮らす地域について改めて考えてみる

収益性が極めて低い土地の使い方については、さらなる議論が必要

ステップ②：
土地の使い方を選択する

外部不経済に応じた適切な管理が必要

ステップ③：
実現に向けた具体的なアクションを実行する

< 今後の進め方 >

第9回 ・収益性が極めて低い土地のあり方を検討する上での課題

第10回(今回)・収益性が極めて低い土地についての現地視察、検討方針

第11・12回 ・収益性が極めて低い土地で生じる外部不経済を調査した上で、外部不経済に応じた適切な管理のあり方を検討・提案

第13回 ・2019年とりまとめ及び3カ年の全体とりまとめ

【全体とりまとめ】
「人口減少下の国土の利用・管理に向けた提言」(仮称)